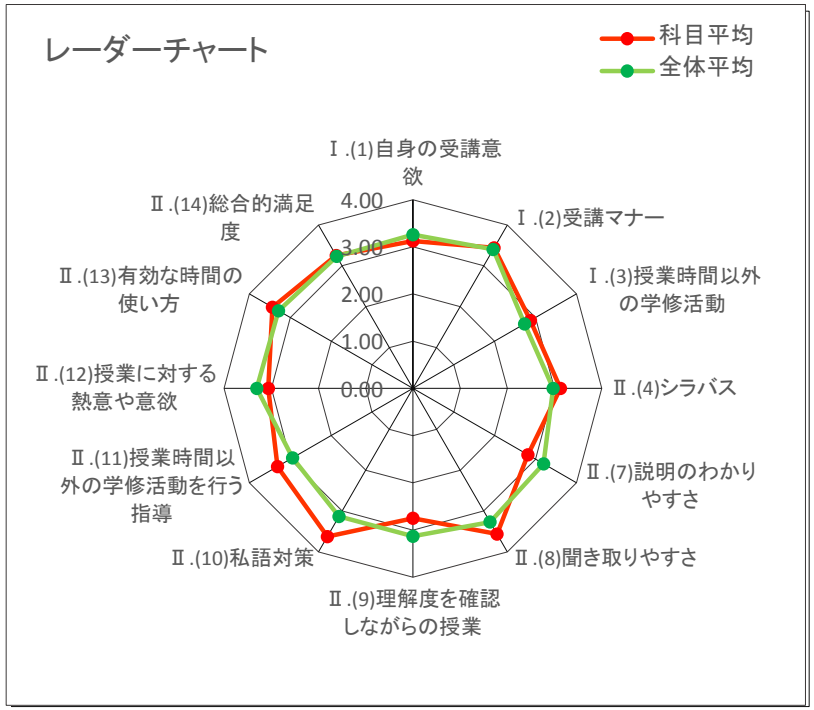
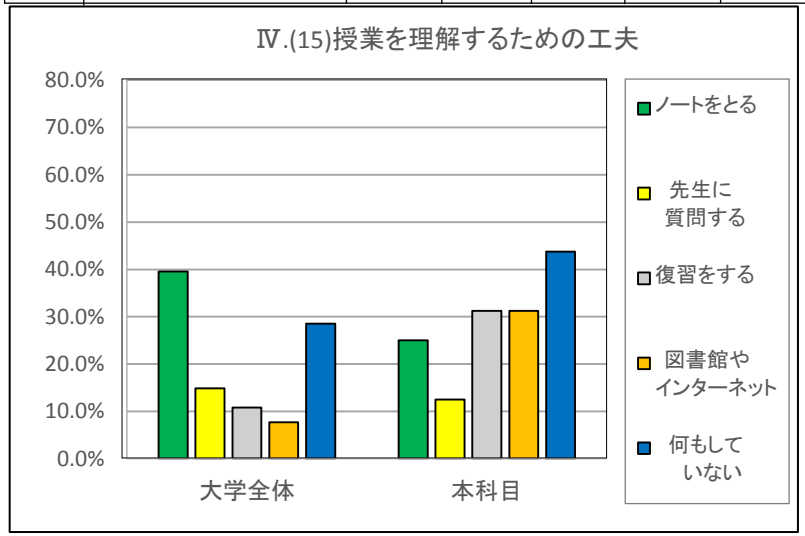
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.13	3.26
	Ⅰ.(2)	3.44	3.40
	Ⅰ.(3)	2.88	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.13	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	2.81	3.20
	Ⅱ.(8)	3.56	3.27
	Ⅱ.(9)	2.75	3.13
	Ⅱ.(10)	3.63	3.13
	Ⅱ.(11)	3.31	2.94
	Ⅱ.(12)	3.06	3.31
	Ⅱ.(13)	3.44	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.25	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	25.0%	12.5%	31.3%	31.3%	43.8%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.15	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.21	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.25	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	12401/12451
科目名	アルゴリズムとデータ構造
教員名	

①授業計画の達成度について

アンケート結果から、シラバスの内容については多くの学生が内容を理解して授業を履修したといえる。しかし、シラバスにおいて計画した授業の内容としてC言語を理解している必要があり、履修学生の知識から判断し授業の前半はC言語の基本的内容を実施した。そのため計画した授業を全て実施することができなかったが、データ構造、アルゴリズムの基本として検索方法の効率的なプログラムの組み方、文字検索など効率的なプログラムの組み方の基本について授業を実施し、授業計画の目的において最低限達成した。

②授業の進め方について

授業の進め方として、一番最初に前回授業の復讐小テストを実施し、次に前回実施した復讐小テストの答え合わせを復讐しながら進め、その後通常事業を実施した。教員の声の大きさ、授業実施環境、授業の進め方についてはアンケート結果から多くの学生がよかったと答えている。しかし、授業内容については難しいと答えた学生が多く、授業内容を理解するために必要な基礎知識を学ぶための課題をだしたりして授業を理解させる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

アンケート結果から、毎講義小テストを実施することにより学生が授業外学習をおこなっている割合が平均より高くなった。しかし、授業内容が難しいと答えた学生については、全ての学生が授業外で何もしていないと回答している。よって、授業改善として授業内容が理解できるように、課題、説明内容の細分化と例題の併用など授業の内容が難しいと感じている学生を減らすように授業を進める。また、授業内容は多くの学生が満足しているのでレベルを落とさずに実施する。

奈良学園大学